



令和8年5月1日

白石市議会

目 次

1. 開催状況等	P 1
----------	-------	-----

2. 意見交換会（ワークショップ）のまとめ

テーマ ～私たち市民が考えるまちづくり～

市政への関心を高めて魅力的で若者が住みやすい市であるために

1 班	P 2
-----	-------	-----

2 班	P 4
-----	-------	-----

3 班	P 8
-----	-------	-----

4 班	P 10
-----	-------	------

3. アンケート結果	P 13
------------	-------	------

4. 参考資料

意見交換会開催のお知らせ

1. 開催状況等

★開催状況

開催日	会場	開催時間	参加人数		
			男性	女性	計
令和8年 3月15日(日)	白石市中央公民館 ホール	午前10時00分～ 午前11時30分	14人	4人	18人
		午後2時00分～ 午後3時30分	4人	10人	14人

合計参加者数 32人

★班員名簿

1班
班長 大森 貴之
進行 佐久間 儀郎
発表 沼倉 啓介
記録 角張 大治

2班
班長 四竈 英夫
進行 小川 正人
発表 村上 由紀
記録 佐藤 龍彦

3班
班長・記録 角張 一郎
進行 伊藤 勝美
発表 佐藤 秀行
大内 卓也

4班
班長 澁谷 政義
進行 高子 秀明
発表 松野 久郎
記録 佐久間 順子

～ 今後の取り組みについて ～

意見交換会の開催にあたり、参加者の皆さまからいただいたご意見は、各常任委員会などにおいて行政効果や実現の可能性などを調査・検討し、市に対して政策提言や要望の必要があると判断したものについては、その実現に努めます。

また、各議員は、いただいたご意見などを参考とし、自己能力を高め、議会における議案質疑や一般質問などの場において、市政課題の解決に努めます。

2. 意見交換会（ワークショップ）のまとめ

市民と議会の意見交換会報告書

令和8年3月27日

白石市議会議長 松野 久郎 殿

報告者 1 班

(班 長) 大 森 貴 之

日 時	令和8年3月15日（日） 10時00分 ～ 15時30分		
場 所	白石市中央公民館 ホール		
出席議員	(班長) 大森 貴之	(進行) 佐久間 儀郎	(発表) 沼倉 啓介
	(記録) 角張 大治		
参加人数	8人 (男 6人 : 女 2人)		
意見交換	<p>【意見交換のテーマ】～私たち市民が考えるまちづくり～ <u>市政への関心を高めて魅力的で若者が住みやすい市であるために</u> 【参加者からのご意見等】</p> <p>① <u>まちづくりの実施可能なアイディア</u></p> <ul style="list-style-type: none">・(意見) 老人が住みやすいまちづくり・(実施中) 月1ついでにゴミ拾い、対話の場・(要望) 自治会への支援、まちづくり協議会への支援・(疑問) 大金をかけて活用されていないものをどうするか (例スパッシュランド)、本来の目的にあった使用がされているのか (例アテネ) <p>② <u>このような市なら若者が住んでくれるのではないかな</u></p> <ul style="list-style-type: none">・(意見) 若者に補助金、働く場をつくる、子育て支援・(意見) 若い人をつぶさない、あたたかみのあるコミュニティ・(意見) PTA活動が中止になってきている。参加するメリットが必要なのではないか・(意見) 総合的なランドデザイン・(意見) 職のある市		

③ 市政への関心を高めるためのご意見

- ・(意見) 情報発信、リアルの活動を積み重ねる
- ・(意見) 住民も参加する議会のようなものがあれば良い
- ・(意見) 傍聴人が意見を述べる場
- ・(意見) 若い人がほぼ参加していない要因を分析すべき
- ・(意見) まず議員同士で意見交換をした方が良い

【まとめ】

最も多く寄せられたご意見は就業場所の確保であり、高校・大学等を卒業後地元の残れる場所の確保が全ての基本となることを強く感じた。

更には、Uターン者・Iターン者が就業に関して安心して白石市を選択できる環境の構築も併せて行わなければならない。

現在スマートインターチェンジおよび工業団地の整備を行なっているが、市民の間では期待と不安が交錯している。

市民に安心してもらうための成果をより速やかに実現していかねばならない。

休止・廃止される公共施設の有効活用を、遅滞なく実行に移すべきであり、現在稼働中の公共施設においても必要性を含め効果的な運用を検討すべきである。

地域の集会や公聴会等においては若者が参加しやすく、頂いた意見に対しては決して頭ごなしに否定することのないことを基本に開催し、より多くのきめ細やかな情報を発信する必要がある。

市民と議会の意見交換会報告書

令和8年3月27日

白石市議会議長 松野 久郎 殿

報告者 _____ 2 班

(班 長) _____ 四 竈 英 夫

日 時	令和8年3月15日(日) 10時00分 ~ 15時30分		
場 所	白石市中央公民館 ホール		
出席議員	(班長/政策企画調整会議 委員長) 四竈英夫	(進 行) 小川正人	(発表/総合司会) 村上由紀
	(記 録) 佐藤龍彦		
参加人数	8 人 (男 4 人:女 4 人)		
意見交換	<p><u>【意見交換のテーマ】</u> ~私たち市民が考えるまちづくり~ <u>市政への関心を高めて魅力的で若者が住みやすい市であるために</u></p> <p>1. まちづくりの実施可能なアイデア</p> <p><u>①日常生活の質を向上するため、公共交通を充実させる</u></p> <p>【主なご意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・「きゃっするくん」の便数が少なく、待ち時間が長いので便数を増やす・山に囲まれていて広い市域のため(運転手不足等課題もあるが)電話予約のバス(デマンドバス)など他県の成功事例を研究することが必要・白石の中心部はバスが充実しているが、少し離れると交通の便が悪い・隣接する自治体への交通の利便性も高めるべき(中核病院への通院手段等)・みやぎ県南中核病院を紹介されても、通院できず治療を諦めてしまうケースがある <p><u>②利用しやすい公共施設整備と Wi-Fi 環境整備による若年層の公共施設利用向上につなげる</u></p> <p>【主なご意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・図書館や公民館をもう少し利用しやすく整備する		

・図書館にネット環境があれば、高校生や子どもたちが今以上に利用するようになり、利用者増につながる

・中央公民館の予約ができず、他の施設を使用していると聞いている（高齢者）

③観光地の整備（道路、駐車場・案内板含め）および、白石城を起点とした観光施策を強化する

【主なご意見】

・白石城を起点とした観光施策を展開し、交流人口を増やしながら市の活性化を図る

・白石城の近くまで（大型）観光バスが入られるように道路整備をする

・観光客にわかりやすくきめ細かな観光案内板の設置をする

2. このような市なら若者が住んでくれるのではないか

①人とのつながりを強くし、イベントなど参加しやすい環境を作る

【主なご意見】

・行事への参加者がいつも同じ人になってしまう。幅広い方に声かけをしてくれると良い

・日常的なあいさつを交わし、親しみやすいつながりを作る

・若者の意見を素直に受け入れる心の準備が必要

・日常的に挨拶できるような雰囲気が地域に少ない、地域住民が気軽に声掛けできるような雰囲気がほしい

②余裕のある生活ができるような企業誘致をする

【主なご意見】

・企業誘致が大切、職場を確保して、若者が白石に住んでもらうようにしてほしい

・学校統合と企業誘致は逆ではないか。

※人を増やすための企業誘致だが、現政策の学校統合であれば人口が減っていくことが前提となっている。どちらに舵を取るのか伺いたい。

③小中一貫校義務教育学校と学校再編について、他自治体の先行事例を検証し、白石市に合う学校再編を目指すことが子育て世代に選ばれるまちになる

【主なご意見】

・義務教育一貫校では、不登校の人数が増え精神面の負担が増えたと聞いている

・小学校と中学校では子どもの発達状態が違うため、義務教育一貫校はいいかなものか。中学校と高校なら可能かもしれないが先行事例をしっかりと検討

してほしい

- ・他県のある市では小中一貫義務教育学校はやめた

④民間の各種イベント等に対して、行政が広報・PRなど積極的に応援する

【主なご意見】

- ・若者がイベントに参加しやすくするため、イベント（スポーツ・フリーマーケット等）に参加するとポイントを貯めるような仕組みがあれば良いのではないか
- ・市民の有志団体や企業のイベントについて、広報・PRなど行政の協力があると良い。

⑤国との連携を増やし、補助金などを活用しながら近隣市町よりも魅力ある支援をする（個人負担を軽減する取り組み）

【主なご意見】

- ・白石が好きだという若者は多い。魅力ある町なのだから、近隣の市町よりも支援を頑張ってもらいたい
- ・子育てのための魅力として、若い人はその地域でどれくらい子育てにお金がかかるかということを考えている。近隣の市町と子育て支援の手厚さを比較している。国の政策だけではなく、白石市独自でも（支援を）考えるべきだと思う。
- ・子育てするなら産婦人科が必要（中核病院で周産期医療再開する情報あり）
- ・自治会費（負担金）が高い→若い人たちも生活が大変なので考えてほしい
- ・若者も高齢者も住みやすい町にしてほしい

3. 市政への関心を高めるためのご意見

①議員は市民の代表である、市民の意見を聞くためにも意見交換の場を増やす

【主なご意見】

- ・議員の意見をもっと聞きたい
- ・議会との企画は大事なので、今後とも継続してほしい。

②ITを活用した白石市情報発信について、市民を巻き込んで行う

【主なご意見】

- ・市民にブログやユーチューブ（SNS等）で白石市のことを発信してもらい発信者には、補助金を出すなど考えられないか
- ・市と市民双方が、こまめに情報を発信していく

③道の駅等行政の政策を推進する場合、十分な議論をし、市民にもわかりやすく納得できる形で進めること

○意見交換会の考察

市民の声を大きく分類すると

- ① 生活の利便性の向上、観光による市の活性化
- ② 若者定住のための手厚い支援
- ③ 市政への信頼のために議員との対話は必要不可欠

以上の3本柱に集約できる

◆総合的なまとめ◆

- ① 公共交通・公共施設・観光施策など「暮らしの土台」を強化する
→生活基盤の改善が若者にも高齢者にも共通のニーズである
- ② 企業誘致・手厚い子育て支援・学校再編・地域のつながりを“白石に合う形”で再設計する
→若者が住むには“働く・育てる・つながる”の3条件が必要
- ③ 市民と議会が継続的に対話し、政策の透明性を高める
→市政への信頼は“対話の量と質”で決まる

以 上

市民と議会の意見交換会報告書

令和8年3月27日

白石市議会議長 松野 久郎 殿

報告者 3 班

(班 長) 角 張 一 郎

日 時	令和8年3月15日(日) 10時00分 ~ 15時30分		
場 所	白石市中央公民館 ホール		
出席議員	(班長) 角張一郎	(進行) 伊藤勝美	(発表) 佐藤秀行
	(記録) 角張一郎	大内卓也	
参加人数	8人 (男 6人 : 女 2人)		
意見交換	<p>【意見交換のテーマ】 ~私たち市民が考えるまちづくり~ <u>市政への関心を高めて魅力的で若者が住みやすい市であるために</u></p> <p>【参加者からのご意見等】</p> <p>1. まちづくりの実施可能なアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設は作って終わりではなく、それをいかに維持し活用するかが大事であると思う。 ・自治会は安全・安心な市民生活を支える基盤であり、まちづくりに果たす役割は重要である。自治会への加入促進、自治会の役割、行政との関わり等を定めた、自治会条例の制定も有効な施策ではないかと思う。 ・白石市の観光大使佐藤三兄弟は SNS で多くのフォロワーに支えられている。もっと多く来白し、それを SNS にアップすることでファンに拡散され、観光客や移住者の増加につながるのではないかと思う。 ・運動公園、サイクリングコースなど家族で集える施設が、1カ所にまとまった場所にあると、まちの活性化にもつながるのではないかと思う。 ・リタイア世代の移住支援も有効な施策である。50代60代に市の情報を発信すると共に移住者への新たな支援制度の検討も必要ではないかと思う。 <p>2. このような市なら若者が住んでくれるのではないか</p>		

- ・若者の定住には雇用の場の創出が必要である。交通の便の良さを積極的にPRし早期の企業誘致が望まれる。
- ・白石市には魅力的なものがたくさんある。それを、若い人にはネット環境を活用したPR活動が有効であり強化すべきであると思う。
- ・ミルク代、おむつ代への助成も有効な子育て支援になるのではないかなと思う。
- ・子どもたち・若い世代を巻き込んだ持続的な祭りなどの開催により、活発な人の動きにより、地域での子育て支援につながるのではないかなと思う。

3. 市政への関心を高めるためのご意見

- ・若者が地域において、自分たちがどうあるべきか心配し模索している。若者が意見の言える場が市などにより設置されれば若者も地域づくりに興味を持つのではないかなと思われる。
- ・地域や年代別のニーズや困りごとを、細かくかつ大局的に捉える必要がある。
- ・広報やネットで情報をもたらえるが、自治会など顔の見える小単位での学習会や意見交換会の開催も良いのではないかなと思う。

市民と議会の意見交換会報告書

令和8年3月27日

白石市議会議長 松野 久郎 殿

報告者 4 班

(班 長) 澁 谷 政 義

日 時	令和8年3月15日(日) 10時00分 ~ 15時30分		
場 所	白石市中央公民館 ホール		
出席議員	(班長) 澁谷 政義	(進行) 高子 秀明	(発表) 松野 久郎
	(記録) 佐久間 順子		
参加人数	8人 (男 2人 : 女 6人)		
意見交換	<p>【意見交換のテーマ】 <u>～私たち市民が考えるまちづくり～</u> <u>市政への関心を高めて魅力的で若者が住みやすい市であるために</u></p> <p>【参加者からのご意見等】</p> <p>①まちづくりの実施可能なアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家をお試し利用やリノベーションにより活用し、市外から人を呼び込める店舗や交流拠点とすることで、地域のにぎわい創出につなげる。 ・交通の利便性など白石市の強みを発信し、若者が働きながら暮らせる環境を整えることで、定住促進につなげる必要がある。 ・定住には子育てしやすい環境や出産できる医療体制が不可欠であり、その前提として安定した雇用の場の確保が重要である。 ・市内の行事(行政・民間・個人)を一元化して発信することで、市民が情報を得やすくなり、参加促進や交流人口の増加につながる。 ・全世帯が参加できるイベントや若者が関心を持つ交流の場を増やすことで、地域の活性化が期待される。 ・教育から就労、結婚・出産までを市内で完結できる環境を整えることが少子化対策につながるのではないか。 ・予算だけで判断するのではなく、既存資源の活用や工夫(例:バスの借り上 		

げ)により、柔軟に対応していくべき。

- ・白石市で子育てするには女性に配慮した環境が必要であり、避難訓練や災害時における女性専用スペースや親子で過ごせる場所の確保など、具体的な対応が求められる。

②このような市なら若者が住んでくれるのではないか

- ・学校統合に伴う地域活動の変化を見据え、施設の有効活用については、他自治体での活用事例（工場や事務所、交流拠点など）を参考に検討していく必要がある。
- ・入学人数が少ない学校や複式学級への不安がある中で、子どもたちが将来を見据え、幅広い可能性を持てるよう、単なる統合ではなく特色のある小中一貫義務教育学校の整備が求められる。
- ・子ども食堂などへの支援を強化し「子育てしやすいまち」として発信することで、移住・定住のきっかけになるのではないか。
- ・安心して出産できる環境整備や費用負担の軽減を図ることで、出生率の向上につながると思われる。
- ・学校統合に伴い通学距離が伸びるため、スクールバスの整備は必要不可欠であり、義務教育においては無償化も検討すべき。
- ・通学方法については、他自治体の事例を参考にしながら、より良い仕組みを構築する必要がある。
- ・教育や子育てに手厚いまちづくりを進めることが、若い世代の定住につながる。
- ・若者が集まるためには働く場の確保が不可欠であり、企業誘致を積極的に進める必要がある。
- ・地域での意見交換は、交流を取り入れた形で行うことで、より多様な意見が出やすくなる。
- ・若者には役割を持たせることで居場所とやりがい生まれ、地域への関わりが深まる。
- ・若者の意見を活かすためには、上の世代が柔軟に受け止める意識改革が必要である。

③市政への関心を高めるためのご意見

- ・意見を聞く機会を増やし、実際に市政に反映されることで、市民の関心や参加意識の向上が期待される。
- ・市の情報はLINEだけでなく、議員からもSNS等で発信することで、より多くの市民に届くようにすべき。

- ・市民自身も市政への理解や関心を高める必要がある。
- ・議員が市長へ積極的に提案し、その内容を分かりやすく市民へ伝えることで「取り組んでいる姿」が見えるようにするべき。
- ・人口減少だけでなく、企業誘致や婚活など前向きな施策や明るい話題を発信することで、まちへの関心を高める必要がある。

【まとめ】

市内イベントの一元化によるにぎわい創出、子どもや女性に配慮した出産・子育てしやすい環境づくり、学校統合に向けたスクールバスの確保、企業誘致による雇用創出と定住人口の増加が求められる。

また、若者だけに任せるのではなく地域全体の意識改革を図るとともに、議員による積極的な情報発信により、市民の市政への関心を高めていく必要がある。

3. アンケート結果

第9回 市民と議会の意見交換会アンケート結果

1. 参加者

開催日	会場	開催時間	参加者			アンケート	回収率
			男	女	合計		
令和8年 3月15日 (日)	白石市中央公 民館 ホール	10:00～ 11:30	14人	4人	18人	31人	97%
		14:00～ 15:30	4人	10人	14人		
合計			18人	14人	32人		

2. 参加者へのアンケート結果(アンケート回答者31人、回収率97%)

問1. 性別について

男	18人
女	13人
未回答	0人

問2. 年齢及び職業について

○年齢

20歳未満	0人	60歳代	8人
20歳代	0人	70歳代	13人
30歳代	1人	80歳以上	2人
40歳代	3人	未回答	0人
50歳代	4人		

○職業

会社員	2人	無職	4人
自営業	5人	学生	0人
農林漁業	6人	その他 *1	5人
主婦	6人	未回答	3人

*1 非常勤職、臨時職、団体役員・職員、年金受給者

問3. お住まいの地区について

白石地区(旧町内)	8人
越河地区	2人
斎川地区	0人
大平地区	2人
大鷹沢地区	5人
白川地区	1人
福岡地区	10人
小原地区	3人
その他	0人
未回答	0人

問4. 意見交換会を何で知りましたか。(複数回答あり)

市議会だより	6人
市広報しろいし	3人
市ホームページ	1人
しろいし安心メール	4人
市公式LINE	5人
市公式Facebook	0人
自治会や各団体の案内	6人
ポスター	0人
議員のSNS	3人
議員・知人の紹介	5人
その他	2人
未回答	0人

問5. 意見交換会の内容はいかがでしたか。

良かった	21人
悪かった	0人
どちらともいえない	4人
未回答	6人

問6. 今後の意見交換会について、また参加したいと思いますか。

思う	24人
思わない	0人
わからない	3人
未回答	4人

**問7. 意見交換会の内容、運営などについて、ご意見がございましたらご記入ください。
また、議会に対するご意見などがございましたら、併せてご記入ください。**

記入された方	20人
記入されなかった方	11人
未回答	0人

**問8. 市議会だよりについて伺います(該当する番号に○をつけてください。)
また、内容や構成・編集などについてご意見がございましたら、ご記入ください。**

1. 毎号読んでいる	18人
2. たまに読んでいる	9人
3. まったく読んでいない	0人
4. 関心がない	0人
未回答	4人

記入された方	11人
記入されなかった方	20人
未回答	0人



第9回市民と議会の 意見交換会

日時

令和8年3月15日(日曜日)

第1部 10:00 ~ 11:30 (受付開始 9:30~)

第2部 14:00 ~ 15:30 (受付開始 13:30~)

会場

白石市中央公民館ホール

※申し込み不要。直接会場へお越しください。

形式

ワークショップ (議員4名のグループに参加)

※グループ分けは抽選式とさせていただきます。

テーマ

～ 私たち市民が考えるまちづくり～

市政への関心を高めて魅力的で若者が住みやすい市であるために

市民の皆さま、いつもありがとうございます。

この意見交換会では、市民と議会の情報を共有する大切な時間です。

初めての方も、ぜひお気軽にご参加ください。



参考資料：第六次白石市総合計画

主 催：白石市議会

お問い合わせ：議会事務局 0224-22-1351